

2007 環境報告書

Environmental Report 2007



豊臣機工株式会社

会社概要

商 号 : 豊臣機工株式会社

創 立 : 1960年 9月 (昭和35年)

資 本 金 : 4.8 億円 (2002年 4月現在)

従業員数 : 1,588 人 (2007年3月) (協力社員含む)

事業内容 : 自動車用塑性加工部品の製造及びプレス金型の設計・製作

営業状況

売 上 高 : 434 億円 (2006年度)

ごあいさつ

当社の事業内容は、従業員約1000名で、自動車ボデー関係を主体とした号口部品のプレス・組付け・塗装、旧型補給部品の外板(フェンダ-・ドア-・クォ-タ-etc)のプレス・組付け・塗装・梱包、プレス金型の設計・製作、試作部品のZAS型プレス・板金など、多岐に渡って事業を展開しております。

『環境』への取り組みは、地球温暖化・増大する廃棄物などの環境問題が社会的な課題となっている昨今、当社自らの生産活動に伴う資源やエネルギーを節約することによって、環境への負荷を軽減することが必要だと決意し、環境方針・スロ-ガンなどを決め、第二次環境取り組みプランを掲げ、全員参加による環境保全活動の継続的改善に取り組んでいます。



豊臣機工株式会社 取締役社長

平子 昭三

工場一覽

本社工場



所在地 愛知県安城市今本町
東向山7番地

敷地面積 : 183.800 m²
従業員数 : 1254 人 (協力社員含む)

額田工場



所在地 愛知県岡崎市檜山町
字広表23番地

敷地面積 : 50.000 m²
従業員数 : 162 人 (協力社員含む)

主な製品



フ-ド ドア - クォ - タ -

自動車用補給ハ-ツ
自動車用号口部品

サスペンション ドア -

フェンダ - ラゲ - ジ

自動車用金型設計・製作

その他



環境方針

当社では、『環境方針』を定め、並びに社内標語募集を行った『スロ - ガン』を掲げて、環境保全活動の維持・継続的改善に取り組んでいます。

* 2001年5月にISO 14001 国際規格の認証を取得いたしました。

環境保全活動スローガン

明日の地球を考える
みんなが主役の環境活動

環境方針

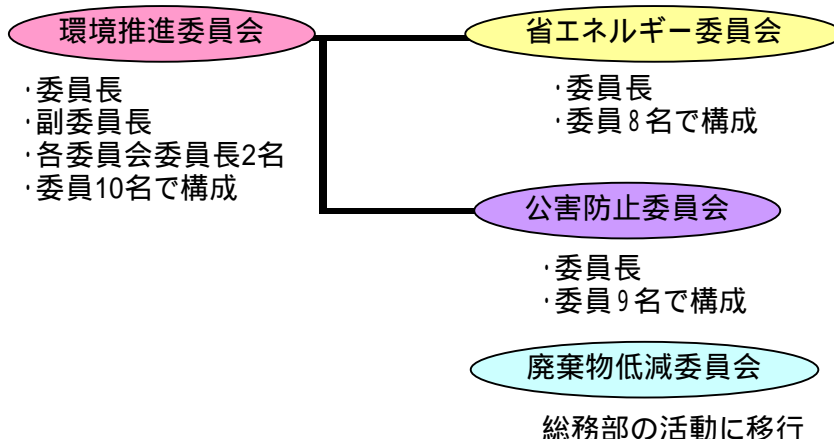
1. 国、地方公共団体等の環境に関する法規及びその他の要求事項を遵守し、汚染の予防に努めます。
2. 生産活動により環境へ及ぼす影響を予測、評価して環境保全のための目的、目標を設定、達成するための活動を推進し、状況により目的、目標の見直しを実施します。
3. 限りある資源を大切にするために、全員参加による廃棄物低減、省エネルギー - 活動及び省資源活動に取り組みます。
4. 地域社会との環境調和を図ると共に、環境方針の定期的な見直しを実施して継続的改善を行います。
5. 環境方針の実効をあげるため、計画的に教育・啓蒙活動を行い全従業員への周知徹底を図ります。

2000年 9月

取締役社長

平子 昭三

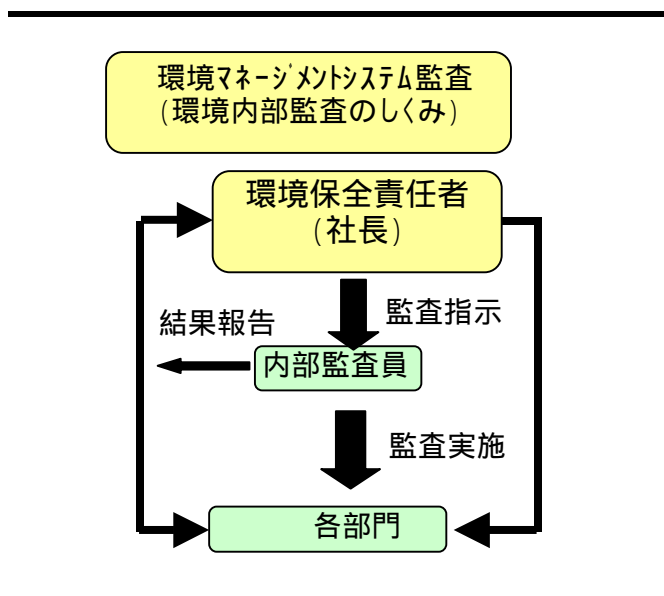
推進体制



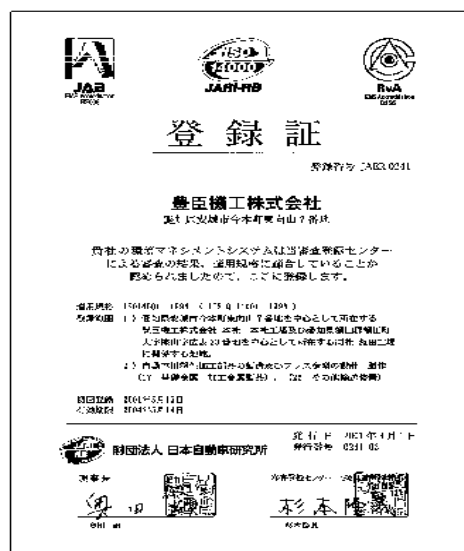
環境マネジメントシステムとISO14001への対応

ISO14001 国際規格の認証取得状況

当社は、1999年11月より、環境マネジメントシステム構築に取り組んできましたが、2001年5月にISO14001国際規格の認証を取得しました。
2004年5月に認証登録を更新
2007年5月に認証登録を更新



(登録証)



環境関連事故など

・特記事項なし

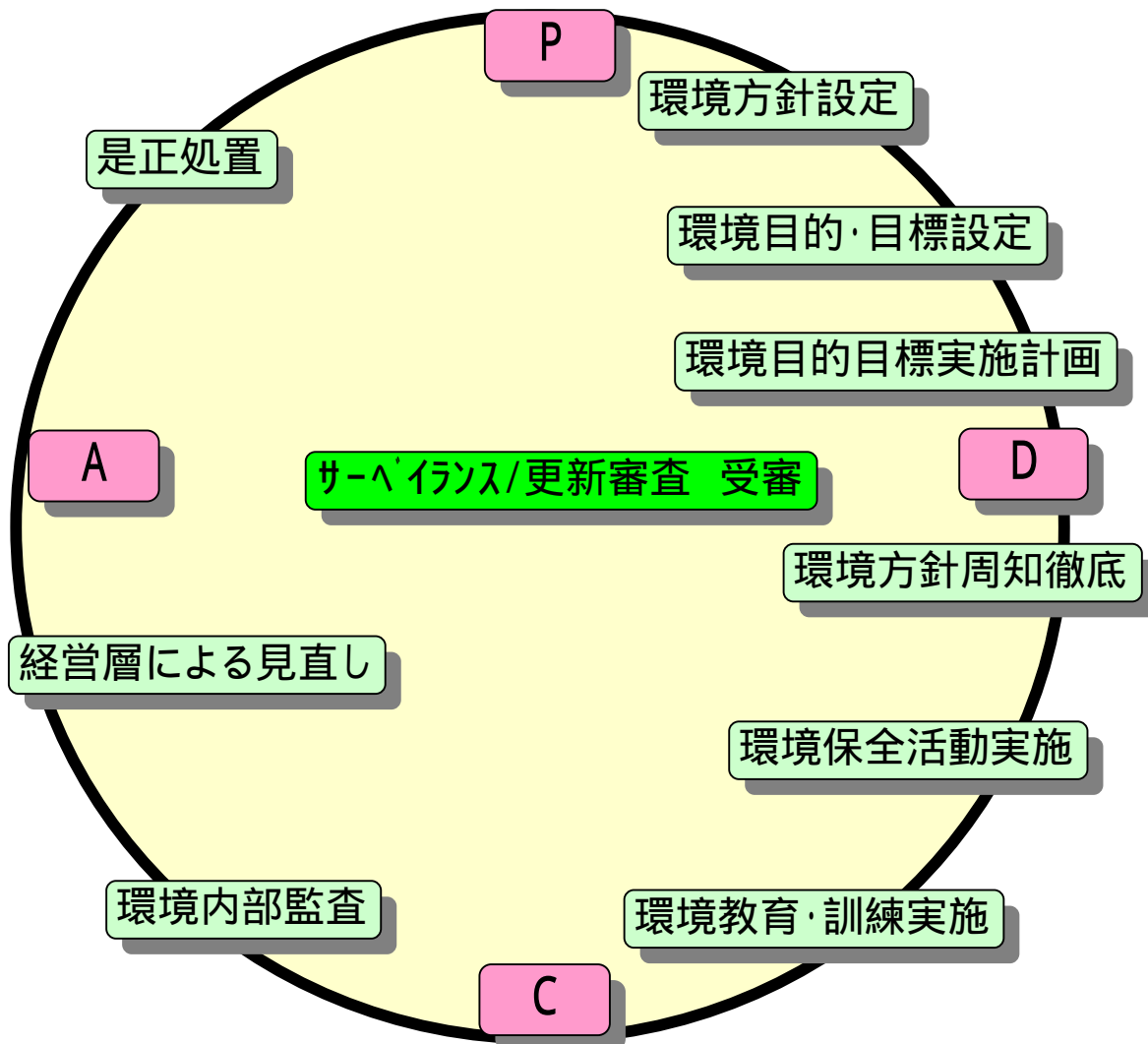
環境マネジメント

環境保全取り組み

第二次環境取り組みプラン(2004年度～2006年度)

環境取り組みプランの制定は、環境に関する取り組みを全社的な体系化を図ることで、着実に反映していくために制定しました。第二次環境取り組みプランは、2004年度～2006年度までの環境対応を推進するためのものです。

ISO14001国際規格の認証取得



環境マネジメント

環境保全取り組み

下記の表は、2006年度末(2007年4月末)までの活動状況をまとめたものです。

環境目的・目標の設定 及び達成状況																																									
省エネルギーの促進による温暖化防止 主な取り組み ・省エネパトロールによるムダな使用電気の低減(蛍光灯・パソコン等)の電源OFF徹底(全員参加) ・屋内灯を省エネタイプへ変更	CO ₂ 排出量を2006年度末までに'03年度比の5.0%減 環境目標: 2006年度末までに2003年度比5.0% (573t) 減 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0ffe0; text-align: center;"> 達成状況: '03年度比の6.2%(714t) 減を達成 </div> <div style="text-align: center;"> CO₂排出量低減 </div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2003年度</th> <th>2004年度</th> <th>2005年度</th> <th>2006年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 低減達成率目標値 (%)</td> <td>100</td> <td>97.5</td> <td>96</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>■ 低減達成率 (%)</td> <td></td> <td>96.8</td> <td>94.5</td> <td>93.8</td> </tr> </tbody> </table>		2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	■ 低減達成率目標値 (%)	100	97.5	96	95	■ 低減達成率 (%)		96.8	94.5	93.8																									
		2003年度	2004年度	2005年度	2006年度																																				
■ 低減達成率目標値 (%)	100	97.5	96	95																																					
■ 低減達成率 (%)		96.8	94.5	93.8																																					
廃棄物の低減(総務部活動) 主な取り組み ・廃棄物集積センター整備 ・各地区ゴミステーション設置 ・ゴミの分別運用手順書整備 ・分別徹底(全員参加)	環境目標: 2006年度末までに2003年度比 埋立ごみ; 現状維持(1420Kg以下) 焼却ごみ; 30%減(5220kg以下) 塗装スラッジ15%減(26.3t以下) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0ffe0; text-align: center;"> '06達成状況: '03年度比の ・焼却ごみ; 25%減 (4329Kg/月) ・塗装スラッジ; 23%減 (21.4t/月) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> (x10Kg/月) ・焼却・埋立ごみ <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2003年度</th> <th>2004年度</th> <th>2005年度</th> <th>2006年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 焼却ごみ 目標値 (kg)</td> <td>5,800</td> <td>5,220</td> <td>4,640</td> <td>4,640</td> </tr> <tr> <td>■ 焼却ごみ 実績値 (kg)</td> <td></td> <td>5,091</td> <td>4,854</td> <td>4,329</td> </tr> <tr> <td>□ 埋立ごみ 目標値 (kg)</td> <td>1,433</td> <td>1,420</td> <td>1,420</td> <td>1,420</td> </tr> <tr> <td>□ 埋立ごみ 実績値 (kg)</td> <td></td> <td>1,360</td> <td>410</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> 塗装スラッジ (トン/月) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2003年度</th> <th>2004年度</th> <th>2005年度</th> <th>2006年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 塗装スラッジ 目標値 (トン)</td> <td>27.7</td> <td>26.3</td> <td>24.9</td> <td>23.6</td> </tr> <tr> <td>■ 塗装スラッジ 実績値 (トン)</td> <td></td> <td>23.7</td> <td>12.6</td> <td>21.4</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 埋め立てゴミは廃棄ゼロを達成したので2006年度から対象から外しました </div>		2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	■ 焼却ごみ 目標値 (kg)	5,800	5,220	4,640	4,640	■ 焼却ごみ 実績値 (kg)		5,091	4,854	4,329	□ 埋立ごみ 目標値 (kg)	1,433	1,420	1,420	1,420	□ 埋立ごみ 実績値 (kg)		1,360	410	0		2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	■ 塗装スラッジ 目標値 (トン)	27.7	26.3	24.9	23.6	■ 塗装スラッジ 実績値 (トン)		23.7	12.6	21.4
	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度																																					
■ 焼却ごみ 目標値 (kg)	5,800	5,220	4,640	4,640																																					
■ 焼却ごみ 実績値 (kg)		5,091	4,854	4,329																																					
□ 埋立ごみ 目標値 (kg)	1,433	1,420	1,420	1,420																																					
□ 埋立ごみ 実績値 (kg)		1,360	410	0																																					
	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度																																					
■ 塗装スラッジ 目標値 (トン)	27.7	26.3	24.9	23.6																																					
■ 塗装スラッジ 実績値 (トン)		23.7	12.6	21.4																																					

環境マネジメント

環境保全取り組み

第二次環境取り組みプラン(2004～2006年度)及び2006年度活動実績

環境目的・目標の設定 及び 達成状況

水質汚濁法

主な取り組み

- 排水処理施設
排水処理装置能力アップ
- 2006年度自主基準値項目
監視・測定強化

2006年度までに

環境目標:2006年度 法・条例等の規制値未達成 0件

達成状況:未達成件数 0件を達成

自主規制値設定項目

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
	法条例値等			
1. PH				
2. BOD (本社)		1.リン汚濁 負荷量 (2.0kg/日以下)	1.窒素汚濁 負荷量 (29.5Kg/日以下)	1.n-ヘキサン 抽出物質 (3.6mg/l以下)
3. COD				
4. リン				
5. SS				
6. 大腸菌 (本社)				

環境に関する法的、及びその他の要求事項データは最終ページに記載

2004年度以降は

[補給金型廃却リサイクルの促進による資源枯渇防止]は生産管理部の定常活動として継続する

(参考)

年度達成状況 2000年～2005年

		2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
金型再利用	目標(t)	3,000	5,500	17,000	27,500	10,000	10,000	8,000
	実績(t)	3,217	10,397	19,490	35,035	10,040	8,525	8,078
	達成率(%)	107	189	115	127	100	85	101
評価(達成 未達×)							×	

環境教育・訓練

緊急事態訓

緊急事態対応訓練実施風景

緊急事態発生可能性施設について、14施設を特定し、年間計画書に織り込んで緊急事態対応訓練を実施しています。



周知徹底活動

環境教育実施風景



社会貢献活動

コミュニケーション

毎年8月に、駐車場を「お祭り一色」にし、近隣住民の方々へも参加の案内を出させていただき、情報交換の場として、開催しております。

'07 サマーフェスティバル風景



地域社会

毎年、定期的に本社工場及び額田工場周辺のゴミ拾いを、実施しております

工場周辺のゴミ拾い風景



環境データ (2006年度)

大気(大気汚染防止法、県条例)

	項目	設備	法規制	県条例	安城市協定	実績
本 社 工 場	ばいじん	ガス ボイラー	—	0.30 g/m ³ N以下	0.20 g/m ³ N以下	0.0001 未満
	SOX		—	0.14 m ³ N/h以	—	ND
	燃料硫黄分		—	—	0.8 %以下	0%

NDは検出限界以下を示します — 表示は規制値なし SOX:硫黄酸化物

水質 本社工場 (水質汚濁防止法、県条例等)

	項目	設備	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	実績		
							最小値	最大値	平均値
本 社 工 場	PH	・ 酸又は アルカリ による 表面処理 施設 ・ し尿 浄化槽	5.8 ~ 8.6	—	6.0 ~ 8.5	7.8	6.7	7.2	7.1
	BOD		160 mg/l以下	25 mg/l以下	20 mg/l以下	15	4.6	12	6.3
	COD		20.94 kg/日	—	—	19	6.8	15.7	16.2
	SS		200 mg/l以下	30 mg/l以下	20 mg/l以下	16	1	3	1.3
	油分		5 mg/l以下	—	4 mg/l以下		0.5	1.4	0.6
	大腸菌 群数		3000 個/cm ³ 以下	—	1000 個/cm ³ 以下	800	30	30	30
	窒素汚濁 負荷量		32.83 kg/日以下	—	—	29.5	3	8.9	6.3
	リン汚濁 負荷量		8.624 kg/日以下	—	—	3.25	1.1	2.5	2.4
	銅		3.0 mg/l以下	1.0 mg/l以下	0.2 mg/l以下	< 0.005	1回/年 測定 実績		
	亜鉛		5 mg/l以下	—	2 mg/l以下	< 0.04			
マンガン	10 mg/l以下	5 mg/l以下	2 mg/l以下	< 0.01					

NDは検出限界以下を示し - 表示は規制値なし

記載のない以下の項目は全て検出限界以下

PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1-2-ジクロロエタン、1-1-ジクロロエチレン、シス-1-2-ジクロロエチレン、1-1-1トリクロロエタン、1-1-2トリクロロエタン、1-3ジクロロプロパン、チウラム、シマジソ、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン及びその化合物

PH;水素イオン濃度 BOD;生物化学的酸素要求量 SS;水中の懸濁物質濃度

額田工場水質データについては次ページ記載

環境マネジメント

環境保全取り組み

環境データ (2006年度)

水質 額田工場 (水質汚濁防止法、県条例等)

	項目	設備	法規制	県条例 (境川水域)	岡崎市指導基準値	実績
額 田 工 場	PH	・ 特定施設なし 法及び県条例の規制対象外			5.8 ~ 8.6	6.8
	BOD				20 mg/l 以下	1.9
	COD					
	SS				20 mg/l 以下	2
	大腸菌 群数				500 個/cm ³ 以下	30以下
	溶存 酸素量					
	窒素 含有量					
	リン 含有量					
	銅				1.0 mg/l 以下	<0.01
	亜鉛				2.0 mg/l 以下	0.04
	マンガン				3.0 mg/l 以下	0.9
	水温					

PH;水素イオン濃度 BOD;生物化学的酸素要求量 SS;水中の懸濁物質濃度

PRTR法対象物質

1999年7月に制定された
「特定化学物質の環境への排出量の把握及び
管理の改善の促進に関する法律」

- ・ニッケル(塗装前処理液)・ベンゼン(ガソリン)・亜鉛の水溶性化合物(塗装前処理液)
- ・マンガン及びその化合物(塗装前処理液)・ヒドラジン(塗料冷却装置)
- ・エチルベンゼン(ガソリン)・トルエン(ガソリン・シーラー・床用塗料)
- ・キシレン(ガソリン・灯油・ボージンコート)フタル酸-2-エチルヘキシン(シーラー)
- ・ピクリン酸(切断検査)

2006年度

